

令和2年

第6回国立市農業  
委員会総会議事録

国立市農業委員会

## 令和2年第6回国立市農業委員会総会日程

1. 日 時 令和2年7月20日 午前10時開会  
午前11時閉会

2. 場 所 国立市役所2階 市議会委員会室

出席者

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. 遠藤 利光  | 2. 遠藤 良信 | 3. 北島 直芳 |
| 4. 小鹿倉 薫  | 5. 佐伯 達哉 | 6. 澤井 武  |
| 7. 鈴木 政久  | 8. 関 貞雄  | 9. 関 藤子  |
| 10. 田中 賢治 |          |          |

事務局

事務局長	堀江 祥生	事務局長補佐	関 吉孝
農政係主任	名古屋 悠	農政係主事	吹春 雄章
会計年度任用職員	澤田 恵美子		

3. 議事録署名委員の指名

4. 議題

- |                               |    |
|-------------------------------|----|
| (1) 農地法第4条第1項第8号の規定による農地転用届出書 | 1件 |
| (2) 農地法第5条第1項第7号の規定による農地転用届出書 | 1件 |

5. 協議事項

- (1) 稲作体験学習事業の作業日程について
- (2) 農業まつりについて
- (3) 国立市都市計画審議会委員の変更について
- (4) 新任農業委員研修会の開催について

6. 報告事項

- (1) 「農地管理推進月間」ならびに「農地流動化推進月間」の実施について
- (2) 特定生産緑地指定事務について

7. その他

【遠藤会長】 第6回農業委員会総会を始めます。議題（1）農地法第4条第1項第8号の規定による農地転用届出書1件、事務局、ご説明をお願いします。

【事務局長】 第4条の届出は現地の所有者の方自らが農地以外の用途に転用を行う場合、いわゆる自己転用と呼んでいます。その届出となります。それでは、資料の1ページをご覧ください。議案番号2、届出者氏名・住所、土地の所在、地目、面積、転用の目的、転用の時期、周囲の状況は記載のとおりでございます。以上です。

【遠藤会長】 現地確認は、前農業委員の北島義昭さんです。問題ないということでございます。報告させて頂きます。何かご質問はありますか。なければご承認をお願いします。

（「はい」の声あり）

【遠藤会長】 続きまして、農地法第5条第1項第7号の規定による農地転用の届出書1件です。よろしくをお願いします。

【事務局長】 第5条の届出は、農地を所有していない方が農地以外の用途に転用することを目的にその農地を所有者から買ったり、または借りたりする場合に行う届出となります。それでは、資料の3ページをご覧ください。議案番号7、貸付人氏名・住所、借受人氏名・住所、土地の所在、地目、面積、契約の内容、転用の目的、転用の時期、周囲の状況は記載のとおりとなります。以上です。

【遠藤会長】 ありがとうございます。現地確認を佐伯職務代理がしてございますので、報告をお願い致します。

【佐伯委員】 現地確認をしてまいりました。前回、農地転用届出が出ています同敷地の中で、今回出された場所は活用などいろいろと考えていましたが、この敷地内の全てを転用したいという形です。特に問題はございませんでしたのでご報告します。

【遠藤会長】 ありがとうございます。何かご質問ございますでしょうか。ないようでしたらご承認をお願いします。

（「はい」の声あり）

【遠藤会長】 続きまして、協議事項です。（1）稲作体験学習事業の作業日程についてということで5ページに記載されています。既に終わったもの、あるいは中止になったもの等ございますけれども、この中で今日決めてもらいたいのは、とっぼしから鳥追いテープ張りまでです。稲刈りは10月8日で、予備日が16日です。それと一番下の11月24日、25日、26日の第一小学校の調理実習は、収穫したお米をおにぎりにしてみんなで食べるという内容です。4名の委員にお願いしたいと思います。事務局から補足がありますか。

【事務局】 6ページは昨年度の実績となっておりますので、ご参考にしていただければとおもいます。

【遠藤会長】 とっぼしはいつ頃したほうがいいですか。今年の生育具合を見て。

【北島委員】 今年は生育が遅いです。

【鈴木委員】 お盆ぐらいでいいのではないですか。7月30日から1週間ぐらいで。

【田中委員】 そうですね。

【鈴木委員】 7月30日頃。ちょうどこの辺のお盆が入る方が多いと思います。忙しいけれども、水を切るだけですので。

【遠藤会長】 では、とっぼしは7月30日です。次に鳥追いテープ張り、草刈りの日程について決めたいと思います。

【田中委員】 去年はたしか、鳥追いテープと草刈りを一緒の日にやったのですけれども、それが5日くらいでした。

【事務局】 去年は、9月5日ですね。

【関（藤）委員】 去年は薬剤散布をしていたようですが。

【遠藤会長】 これはやっていないです。今年は機械植えだったので、植える前にやってあります。いつもは田植えの時期はやっていないですね。今年は8月の薬剤散布は、やらなくて大丈夫です。

【田中委員】 鳥追いテープと草刈りは9月の初めぐらいにやらないと。

【事務局長】 そこはもしあれでしたら次回の総会で。

【田中委員】 そこで決めてもいいのではないですか。お天気もあるし。

【遠藤会長】 それでは一番下のゲストスピーカーBプラン、一小ですけれども、日程は11月24日でいいですか。

（「はい」の声あり）

【遠藤会長】 では、24日に行ける方はいらっしゃいますか。

【田中委員】 一小ですよ。いいですよ。

【佐伯委員】 では、自分が出ます。

【遠藤会長】 一小でしたら私も。

【関（藤）委員】 私も行きます。

【遠藤会長】 では、田中委員、私、佐伯委員、関藤子委員、よろしく申し上げます。

【関（藤）委員】 何時頃に集合ですか。

【事務局】 3校時目なので、10時20分ぐらいに集合して頂く事になると思います。

【遠藤会長】 では、集合時間についてはまたご連絡をお願いします。

【事務局】 分かりました。

【遠藤会長】 （2）農業まつりについてです。

【事務局】 農業まつりについてですが、11月14日、15日の土日を予定しています。農業委員会の皆様には宝船の作成であったり、品評会のお手伝いであったり、毎年いろいろな場面で力添えを頂いているところです。その中で農業委員会の皆様が主となってやったださっているのが苗木の無料配布とふかし里芋の無料配布の2点です。皆様もご存じのとおり、新型コロナウイルスの影響がまた大きくなってきているので、7月の末に行われる農業まつり実行委員会で、今年度の農業まつりについて、実施の有無、もしくは縮小という議論に発展する可能性があります。苗木とふかし芋については、実施をみこして今から準備をして行きたいと思います。これまでも議論を積み重ねてきた苗木の無料配布ですけれども、例年、ブルーベリー、オリーブ、シャクナゲ、アベリアの4種類を50本ずつ、合計200本を市民の皆様にお配りしてきたのですが、前回の総会でも皆様にご意見を賜りまして、人気があるものとないものと差が出てきてしまっているため、総数の200本は変えずに、ブルーベリーを80本、オリーブを80本、シャクナゲを40本で合計200本、アベリアを思い切って削除ということになりました。事務局のほうでそのように整理をして、

今日、皆様からご承認を頂ければ東京都のほうに正式に申請をしたいと思います。よろしくお願ひします。

【遠藤会長】 例年の状況を見て前回の総会で樹木の品種の選定をしました。アベリアを除いて、人気のあったブルーベリー、オリーブ、シャクナゲの3つに絞って東京都のほうに申請をしようかなということでございます。ご承認頂ければそれでいきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【事務局】 ありがとうございます。続きまして、ふかし里芋の無料配布です。こちらは資料の7ページをご確認頂ければと思います。200名分のふかし里芋の用意をお願いしたいと思っています。これも実施ができるかどうか不確定な中でお決め頂くのは恐縮ですが、里芋を30キログラム、3名の委員の方が購入先として毎年名のりを上げてくださっているのです、これをどなたか3名にお願いしたいと思っています。次に、釜を2つ、バケツを3個、せいろを4個、これもそれぞれ各農業委員の方に名のりを上げて頂いてご用意をして頂いているということがございます。ご協議をよろしくお願ひします。

【遠藤会長】 里芋から行きますけれども、里芋については総体で30キロですが、1つが大体親指ぐらい、20グラムぐらいの大きさのものをそろえてもらいたい。まず、里芋を作っている方はいらっしゃるでしょうか。

【佐伯委員】 はい。

【鈴木委員】 はい。

【北島委員】 はい。

【遠藤会長】 では、北島委員、佐伯委員、鈴木委員、各10キロずつ。これは例年ですと洗っていただいています。もし洗うのが大変でしたら、うちに洗い機がありますので、現物を持ってきてもらえれば洗えます。

【佐伯委員】 里芋を30キロ全部会長のお宅のほうに届けて、洗ってもらうようにしても構わないですか。

【遠藤会長】 結構です。では、そういうことで10キロずつ、よろしくお願ひします。

【関(藤)委員】 すみません、その下にお醤油とか書いてあるのですけれども。

【事務局】 これは事務局で用意します。

【関(藤)委員】 去年のストックでお醤油、大丈夫ですかね。開いていなければいいけれども。

【事務局】 未開封がまだ残っています。

【関(藤)委員】 それなら大丈夫です。分かりました。

【遠藤会長】 続いて、釜についてです。釜をお持ちの方はいらっしゃるでしょうか。

【鈴木委員】 釜はあります。へっついとせいろもあります。せいろは二段で4個ですね。

【遠藤会長】 では、へっつい、釜、せいろを鈴木委員にお願いしてもいいですか。

【鈴木委員】 わかりました。

【遠藤会長】 バーナーは、高柳商店でさくらの会と共有して使っています。バケツはありますか。

【事務局長】 バケツは消耗品で買いましょ。

【遠藤会長】 では、バケツは事務局でお願いします。

【事務局長】 はい。

【遠藤会長】 ふかし里芋の準備については、これでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 続きまして、(3) 国立市都市計画審議会委員の変更について、よろしくお願ひします。

【事務局】 こちらは資料の8ページをご覧ください。国立市都市計画審議会について、所管は都市計画課になるのですが、市内の都市計画的な大きな事項があったときに不定期で開催している会議体になります。農業委員会からも1人選出させて頂いてご協力を頂いているところですが、例年、会長職の方がこの審議会に入っているところです。毎年11月に生産緑地の指定の関係で都市計画審議会があるのですが、その他の事項で大きな何か都市計画的なことがあれば開催すること、多くて年に3回ぐらいの会議体になります。今回、北島義昭前会長がご退任されたということで変更する必要があります。こちらについてご協議頂ければと思います。よろしくお願ひします。

【遠藤会長】 これは、恒例として会長がやっているのですか。

【事務局】 はい。

【遠藤会長】 分かりました。北島前会長の後、私のほうでやらせて頂きます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 次、(4) 新任農業委員研修会の開催について。

【事務局】 東京都農業会議から、新任農業委員研修会の開催についてということで通知が来ています。日時が令和2年8月19日(水)午後2時~午後4時30分で、会場がKOTORIホール(昭島市民会館)です。8月19日当日、国立市役所正面のポストの周辺に午後12時50分にお集まり頂きまして、バスで13時に出発したいと思っています。こちらについてご出席される方の調整をよろしくお願ひします。

【遠藤会長】 これはもう決定ですか。

【事務局】 これは決定です。

【田中委員】 前は、その日に総会をやって、昼食を食べて、そのまま行った記憶があるのですが、そうするとその日1日で済みますね。

【遠藤会長】 新任に限らず出たような気がしますね。

【事務局長】 それはそうお決め頂ければそれでも。

【遠藤会長】 19日に総会をやるのは大丈夫ですか。

【事務局長】 会議室がとれるか、今、確認します。

【事務局】 8月19日、この会議室の予約がとれました。

【関(藤)委員】 研修は、毎年結構人が来るのですけれども、大丈夫ですかね。

【事務局長】 今、東京都が新型コロナウイルスの感染者が急増しているので、農業会議のほうには念のため、その日程で開催されるかどうかも含めて確認させて頂きます。

【事務局】 9ページの通知文の4. 備考の(4)のところに、間隔を空けてお座り頂けるように配慮しますということが書いてあるので、最低限、そういった心配にも配慮して開催しようというのは先方も考えていると思います。

【関(藤)委員】 全員が行くと結構な数で、いっぱいになるイメージがあって、代表で何人かというのだったら話は分かるけれども、会長と新人さんという形で参加したらどうでしょうか。

【事務局長】 確かにこういう状況がありますので、なるべく参加者数を絞るというのも1つの方法かと思いますが、そこも含めて、基本的に新任の農業委員の皆様と会長かということはご協議頂ければと思います。

【田中委員】 昭島市民会館のホールは広いですが、東京都の農業委員全員ということだから結構な人数になりますよね。

【遠藤会長】 それでは、今お話がありましたように、全体ではすごく会場は混むので、新任4名と私ということで、制限がなければ全員参加ということをお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 午後から半日ですけれども、8月19日の午前中に8月の総会をして、その後、バスで会場へ行くというようなことができればいいのかと考えていますが、いかがでしょうか。

(「はい」の声あり)

【佐伯委員】 8月19日のお話なので日にちが近いので、全員で行くのか、今言われた少人数で行くのか、ここで決めたほうがいいのかと思うのですが。こういった文書が来ているので多分本文自体は変わらないような解釈で私は見えています。そうなったら、国立市と致しましてはこのように形で行きますということで参加するほうがよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

【遠藤会長】 そういう意見もございます。前回、3年前は全員で総会が終わった後行ったのですが、今回は事情が違うので、新任と私の5名参加ということで2期目の方が承認頂ければそういうふうな形で行きたいと思います。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 では、新任の方は8月19日の午後は、空けておいてください。

【遠藤会長】 では、報告事項でございます。(1)「農地管理推進月間」ならびに「農地流動化推進月間」の実施について、事務局、お願いします。

【事務局】 こちらは資料が10ページから12ページになります。こちらは東京都農業会議から、「農地保全・利活用促進月間」の実施についてということで農地利用状況調査の実施についての依頼文になっています。農業委員会は主に、地域の農地利用の確認、遊休農地の実態把握と発生防止・解消、違反転用発生防止・早期発見の3つを目的として、毎年、市内全域で農地パトロールを実施しています。この調査は、平成28年4月1日に農業委員会法が改正されまして、農地利用の適正化が農業委員会で必須業務となったことを踏まえ、重要な取組の1つとなっています。調査期間は、10月の下旬頃を調査期間としていまして、1日で市内農地の肥培管理を調査しています。調査方法は、主に地区の農業委員全員、また市の職員を含めまして、農地の耕作の状況等を見て、遊休農地となっているかどうかを判断することにしています。ちなみに、遊休農地というのは、1年以上にわたって耕作されておらず、今後も耕作がされないと見込まれる農地、または周辺の農地に比べて著しく利用されていない農地、肥培管理ができていない農地のことです。こちらにつきまして日程をご協議頂きたいと思います。よろしくお願いします。

【遠藤会長】 今、事務局からお話がありましたように、国立市では、大体市役所を挟んで西と東で2班に分かれて農地利用状況調査を実施をしています。10月20日が本番で、21日が予備日ということで提案したいのですが、もし、新任の方がその日は都合が悪いということがあれば変更をさせて頂きたいと思いますが、10月20日、大丈夫ですか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 自転車で移動しますので、小雨だったらカップを着て実行します。強雨の場合は、予備日の21日に延ばすというような予定でお願いしたいと思います。

【鈴木委員】 これは1日ばかりですか。

【遠藤会長】 1日ですね。では、(2) 特定生産緑地指定事務について、お願いします。

【事務局】 こちらは特定生産緑地の指定申請ということで、所管が都市計画課になりますが、既存の生産緑地を特定生産緑地に指定する手続きというのが今年度始まっています。13ページに、特定生産緑地の指定をする際に、国立市特定生産緑地指定基準第3条第1項第2号に基づき肥培管理を確認しというところで、この観点で農業委員会に協力をお願いしますという市長名の依頼文が来ています。この第3条第1項第2号というのが16ページ、17ページに当たるのですが、いわゆる生産緑地の農地の肥培管理基準と同じものになります。2ページにわたって書いてありますが、この視点をもって、現地の確認であったり、何かあったときの指導というところを農業委員会へお願いしますというものです。実は、6月から申請が始まっています、6月、7月が第1期、10月が第2期、2月が第3期と、市内を3つに区分して、地域ごとにそれぞれ申請の日程が決まっているのですけれども、6月、7月の分は申請が来ていまして、恐らく3期合わせて120件ほど、特定生産緑地の指定申請が今年度来るのではないかと見込まれています。この120件を全部農業委員さんにそれぞれ現地確認して頂いてというのは非常にお手数をかけてしまいますので、一義的にまず事務局が受けまして、申請がある程度たまってきた段階で都市計画課と私たち事務局のほうで現場を見て肥培管理の観点で何かあるかないかというのを見てきたいと思います。もし個別の案件で何かまずいなというものがあれば、その都度、委員さんに報告させて頂いて、総会等の活用をさせて頂いてご協議頂きたいと思っています。6月、7月の申請もそんなにまだ来ていないみたいで、1回、都市計画課の職員と行ったきりで、その後私たちもまだ行っていませんので、恐らく7月の末にかけて駆け込みが来ると思いますので、慌ただしく動くことがあるかと思えます。何かあればその都度相談させて頂きますのでよろしくお願いします。6月の総会のときにお話しした内容と重複するのですが、新しい方もいらっしゃると思いますので改めてお話しさせて頂きました、よろしくお願いします。

【遠藤会長】 ありがとうございます。特定生産緑地指定の手続きについて何かありますか。ないようですのでその他に移ります。農業委員会だより第52号の内容確認について、お願いします。

【事務局】 お手元にお配りしていますカラーコピーの農業委員会だより52号をご覧ください。まず1ページ目に新農業委員紹介ということで、新しく農業委員になられた4名の方については今のところ空欄になっています。本日、コメントを頂きましたので、加筆いたします。顔写真については、総会が終わった後に4名の方の顔写真を撮らせて頂いてここに掲載する予定となっています。最終稿となりますので、内容についてご確認頂き、もし修正がございましたら、明日7月21日までに事務局にご連絡ください。印刷の仕上がりですが、8月中旬頃を予定しています。印刷が仕上がりましたら事務局より委員さんへ配付名簿とともにお渡し致しますので、担当地区の農家さんへ配付をお願い致します。以上です。

【遠藤会長】 ありがとうございます。続きまして、6月総会の活動報告記録カードの集計結果報告。

【事務局】 6月の農業委員活動記録カードの集計結果です。A「総会、全員協議会」9件、E「市



民・学校教育等との交流活動」13件、F「現地確認」4件、計26件となります。以上です。

【遠藤会長】 続きまして、次回の総会ですが、先ほどありましたように研修会の兼ね合いもありますので8月19日に行いたいと思います。次、報酬、親睦会費について。

【事務局長】 まず、皆様の委員報酬ですけれども、今回、改選がございましたので、任期が7月20日からということになりますので、皆様の委員報酬につきましては日割り額で12日分となりますが、そちらの12日分の額を8月の報酬と一緒にお支払いさせて頂くこととなりますのでご了承頂きたいと思います。8月の報酬につきましては、毎月15日が支払日ですけれども、土曜日ですので14日に、基本的には皆様の指定口座のほうにお振込をさせて頂くこととなります。それから、親睦会費ですけれども、前回までの農業委員の皆様には毎月5000円ほど親睦会費を、私、事務局長のほうが通帳管理をさせて頂いていますが、そのような形で農業委員報酬から5000円を差し引いた形で集めさせて頂いていますので、その流れでよろしいかどうかお決め頂ければと思います。よろしくお願い致します。

【遠藤会長】 今ご説明がございましたけれども、毎月の報酬から5000円を天引きさせて頂いて積立てをさせて頂いています。任期の3年間、そういう形でいろいろ利用したりするのですけれども、最終的な残金につきましては、最後に皆さん個々に返却をさせて頂いています。そのような形よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 ありがとうございます。その他、もうないですか。

【事務局長】 申し訳ありません。1つだけ皆様にお伺いしたい点がございまして、今年の3月に開かれました市議会の第1回定例会の中で、種苗法に関連する陳情が採択されています。その内容が、国立市の伝統的な種子を発掘調査して農家の方に無償で貸し出す、そして有用な品種を堂々と自家増殖できる制度を条例に明記して頂きたいと、そのような陳情の内容が採択されています。事務局のほうで、東京都の農業改良普及センターの職員の方、それからJAの職員の方、また、地元の農業者の方にも何人か、伝統的な野菜の種子の自家増殖をされていらっしゃる方をご存じないかお伺いしたのですが、今のところそのような方はいらっしゃらないということでした。こちらにいらっしゃる北島直芳委員は江戸東京野菜の種子を使って栽培されたこともあるというお話は伺ったのですが、なかなか国立独自の野菜ということで種を自家増殖されているということは今のところ把握できていないのですが、今日、農業委員会の委員の皆様の中でそのような方が国立市内にいらっしゃるかどうか、もしご存じであればお伺いしたいと思ってお話をさせて頂きました。どなたかそのような方がいらっしゃるというのを伺った方はいらっしゃいますでしょうか。

【関(貞)委員】 昔、谷保ナスというのを使っていたのだけれども、今頃作っている人はいないですね。

【佐伯委員】 結構前になりますけれども、Aさんに、谷保ナスですかねと言ったら、千両だよと言っていたので、その前にあったのかもしれないですね。今はないという話をしてくれたのかもしれないですね。話はそれてしまうかもしれませんが、江戸東京野菜の話が出たので、たまたま回覧で回したときに、江戸東京野菜の種を頂きますと言ったのが私だけだったようです。今回、馬込半次郎と寺嶋ナスの2つを栽培しています。今、馬込半次郎のほうは、自分で種を取っています。澤井委員に話を聞きながら、キュウリの種を採る一番ベストな方法とかも探りながらやろうかなとは思っているのですけれども、今話したとおりの回覧で回ったときに手を挙げた方がいらっし

やらなかったので、江戸東京野菜を作っているのは国立市内では私だけだと思います。

【事務局長】 すみません、それはJ Aの回覧でしょうか。

【佐伯委員】 そうです。J Aの回覧です。

【佐伯委員】 今、東京都ではすごく力を入れているようなので、東京都の食堂で江戸東京野菜フェアを行って、都庁の人たちの昼時なども好評を得ているという話はこの間、都庁でも話をされていたので、そんな形でPRをしているようです。

【田中委員】 国立独自というのはいないですね。

【佐伯委員】 これからまた全体で取りまとめて作りやすい野菜を作るのもいいですね。

【田中委員】 新たにやっていくというのならまだ分かりますけれども、古いものをそのまま残していくのは、その現物が無い以上やりようがないです。

【事務局長】 ありがとうございました。

【遠藤会長】 それでは、ご協力ありがとうございました。第6回農業委員会総会は以上をもちまして終了致します。

—了—